

手に手を

平成30年5月23日

第77号

発行 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会
〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47
TEL 0798(33)7713
FAX 0798(33)7743



第7回

知的障がい児・者作品展

はばたくアート展



平成30年2月14日(水)～2月18日(日)まで、阪急西宮ガーデンズ ガーテングホールにおいて『第7回はばたくアート展』を開催しました。

会場に知的障がい児・者の作品(絵画・手芸・立体作品など)約200点を展示させていただきました。西宮近郊のほか、県外からもご来場いただき、来場者は5日間で1,320名にのほりました。

今回は開催当日がバレンタインデーということで、余暇活動で『ハート』をテーマに製作したTシャツ・立体作品(ハート星人)を展示しました。また、当日来られた方にも事前に用意しておいたピンクの小さなハートを貼っていただき、大きな『ハート』ができました。今回初めての試みとして17日・18日に会場でライブパフォーマンスを取り入れました。彼らが実際に描いているところを見ていただき、子どもたちの事をより知っていただけたように思いました。

ロビーには育成会会員の子も達が利用する西宮市の福祉事業所紹介パネル・パンフレット等を置き、多くの方々に知っていただくこともできました。アート展は大盛況のうちに幕を閉じました。

ご来場いただいた方々から、元気をもらった、笑顔がこぼれた等心温まるお言葉や自由な発想・色づかい、豊かな表現への感嘆の声、会場や展示に関わったスタッフへの労いの言葉等たくさんたくさんいただきました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

平成 29 年度オープンセミナー 『ともに育ち、ともに生きる』

日々の生活の中で起こる子どもとの小さなトラブル、発達やコミュニケーションにとまどい悩む皆さんへの情報やヒントの提供の場として、会員だけでなく一般の方も多数ご参加いただいています。今年度も西宮市教育委員会及び一般社団法人兵庫県障害児者生活サポート協会の後援を受け開催しました。

第1回「知的障害、自閉スペクトラム症の特性理解と具体的支援」

日 時 平成 29 年 11 月 7 日 (火) 西宮市立勤労会館 第 8 会議室

参加者 148 名 (会員 30 名 一般 118 名)

講 師 大阪教育大学名誉教授 大阪医科大学 LD センター顧問
一般財団法人特別支援教育士資格認定協会 理事長 竹田 契一 氏



知的障がい、自閉スペクトラム症の子どもは一人ひとり違います。

そして、それぞれの個性を大切にしながら、それに合わせた対応が必要になってきます。

長年子どもたちに直接接してこられた竹田契一先生に、経験談も含みながら、具体的な支援の方法をお話していただきました。

まず、障がいの特性を理解する話から始まり、わかっていたつもりの事も再認識させられました。

彼らの行動には必ず理由はあり、コミュニケーションは発達レベルに合わせ、工夫をし、優しく、根気よく、また説教などはしない。結果ではなくプロセスをほめてあげる。ミラーニューロンの働きが弱いと言われる自閉症であっても、大切な人が何回も言うてくるなら聞いてみようかな？と動いてくれる。など、面白く、日常生活に直ぐに役立つアドバイスをたくさんいただきました。

また、社会面では、平等と公平は違うもので、一人ひとりの特性に応じた配慮をする、合理的配慮が大切だということもお話していただきました。

ネット、本の情報も大切ですが、講演会で直接声をお聞きすると、改まった気持ちになり、余裕を持って子どもと向き合える気がしました。

第2回「応用行動分析を活かした支援や子育て」

日 時 平成29年12月5日(火) 西宮市立勤労会館 第8会議室
参加者 132名(会員32名 一般100名)
講 師 関西福祉科学大学 教育学部 教育学科 発達支援教育専攻
準教授 加藤 美朗 氏



応用行動分析 (Applied Behavior Analysis) とは知的発達障がい児 (者) の行動の背後にある原因をさぐり 療育・就労支援時のいろいろな場面で応用されている。

行動問題とは不適切なコミュニケーション手段であることが少なくない。ことばの使用が困難であったり、刺激、情報が偏って独特なかたちで伝わり、ことば以外の行動で伝えようとする時に問題行動となり、要求が満たされるまでくり返されるなどする。気になる困った行動は、なくすことだけでは解決にならない。困った行動から適切な行動を育むような配慮や工夫が必要。

問題行動を叱って静止すると、叱る人・叱る行為を怖がったり、避けるようになる。叱る時は短くきっぱりと静止すること。基本は良い行動を上手にほめること。ネガティブな行動より、ポジティブな行動に注目すること。

問題行動には、その行動の前後の状況(「直前の状況、きっかけ」「直後の結果、対応」)を把握し、それらを変えるような工夫をすることによって、その結果として解決に繋がるという方法をとる。

第3回「『親×先生』でより良い支援を考えよう」

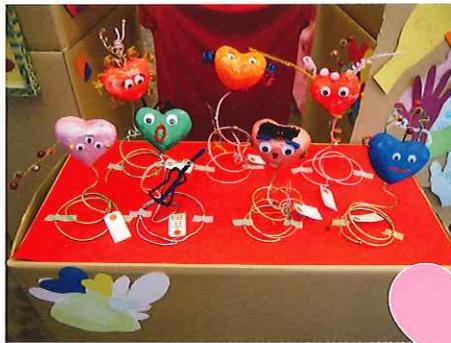
日 時 平成30年1月29日(月) 西宮市立勤労会館 第8会議室
参加者 98名(会員26名 一般72名)
講 師 兵庫教育大学大学院
特別支援教育専攻 障害科学コース教授 井澤 信三 氏



学校の先生(支援者)に子どものことをより理解してもらいたい、子どものために学校と家庭ががより良い関係を築きたい——誰もが一度は悩み、考えた経験のあるテーマについて、臨床経験も豊富な井澤教授をお迎えしてお話を伺いました。

サポートファイルやサポートブックを使った「情報の共有」によって子どもへの理解を深めてもらう方法や、学校との関係がこじれてしまった時の対処法など、具体的な事例をあげてのお話は大変わかりやすく勉強になりました。

主に学校と親の関係・連携についてのお話でしたが、『家庭×作業所』『保護者×支援者(支援サービスヘルパー等含む)』のより良い関係づくり、ひいては円滑な人間関係全般にも通じる講演内容で、他者との信頼関係を作るためのスキルを保護者自身も磨く必要があることを、改めて意識することができました。



第7回
知的障がい児・者作品展
はばた  **ア**



学齡期部活動報告



勉強会・懇親会

平成30年2月22日(木) 西宮市総合福祉センター

テーマ 「お金にまつわる勉強会～

成人してからの保険や相続」

講師 鹿野 佐代子氏

(ファイナンシャルプランナー 終活アドバイザー)

参加者 23名

成人してからの保険、相続、特別贈与信託、成年後見制度、そして気になるグループホームや入所施設にかかる費用や本人の貯蓄額ついて、事例をまじえてお話していただきました。知らない事が沢山ありとても勉強になりました。

年金について、親は子どもの将来の為に貯蓄してやりたいと思いがちですが、何かあった時にと貯めておくお金ではなく毎月使うお金。本人が余暇を楽しみ人生を豊かに送れるように生きたお金の使い方をすることが大切だと学びました。午後からは、鹿野先生も一緒に昼食をいただきながら懇親会を行い、いろいろなお話もできて有意義な会となりました。

わたしたち『西宮啓発隊 輪・和・WA』活動中！

昨年2月に結成した「西宮啓発隊 輪・和・WA」も1年が過ぎました。平成29年度(11月～2月)の地区懇談会でも擬似体験ワークショップを入れていただき、出動しました。その間にも嬉しいことにいくつかのオファーをいただき、12月3日輪イ和イひろば、3月6日高須児童センター子育て講演会、3月16日鳴尾支部 民生・児童委員、協力員研修会、3月24日西宮ボランティア連絡会研修会へ出動しました。1月30日近畿手をつなぐ育成会連絡協議会「リーダー養成研修会」では、たつの市「ぴーす&ピース」、大阪市「ぼっかぼか」、尼崎市「まんまるはーと」、宝塚市「宝塚すみれ隊」と先輩キャラバン隊にまじり私たち「輪・和・WA」も擬似体験ワークを行いました。

まだまだ未熟な私たちですが、地域に1人でも多くの理解者が増え障がいがあっても地域で住みやすくなるように、「みんなちがって みんないいね」と思える地域社会を目指して努力を続けていきたいと思います。



12月3日 輪イ和イひろば



1月30日 リーダー養成研修会



2月28日 地区懇談会(甲東)



3月16日 鳴尾支部 民生・児童委員、協力員研修会



3月24日 西宮ボランティア連絡会研修会

おめでとうございます

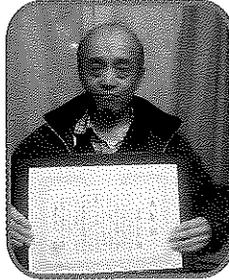
第 66 回兵庫県社会福祉大会で
「兵庫県知事表彰」を
受けられました。

平成 29 年度兵庫県障害者福祉大会で
「知的障害者就労表彰」を受けられました。

20 年表彰



加島 清美さん
阪神中高年企業組合



富塚 純光さん
阪神中高年企業組合



野条 直美さん
(株)クロネコヤマト



平安座 直子さん
(株)くらコーポレーション

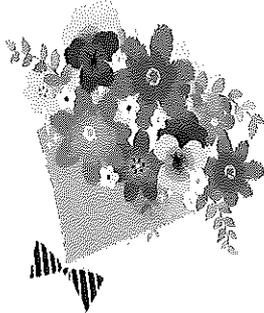
10 年表彰



戸田 広香さん
(株)クラレ



山口 俊一さん
阪神中高年企業組合



平成 30 年度新役員



後列左から

事務局 事務局 事務局 理事 理事 理事 理事
中田郁子 高瀬直子 高士文緒 水岡寿子 西真弓 井手津弥子 梅谷正子

前列左から

理事 副会長 会長 副会長 副会長 理事
宮脇葉子 本田洋子 近藤真由美 中谷美津子 泉明子 岡直美

退任理事

舛次和子 深谷京子 松本秀子 豆柄幸子 岸栄里子 吉野千栄子

☆☆第3回 余暇活動☆☆

「リフレッシュダンス」



平成30年1月14日(日)西宮市総合福祉センター体育室において、関本 千代先生をお招きし参加者35名と保護者や支援者併せて67名で、第3回余暇活動を行いました。

ストレッチ体操で身体をほぐし、ゆずの曲「タッタ」の振り付けを一生懸命覚え、1曲通して踊れるようになると楽しくてもう1回、もう1回と。最後はペットボトルで作ったマラカスを手に輪になり大いに盛り上がりました。心地よい汗をかき身も心もリフレッシュできた1日でした。

平成29年度 ご寄付 (敬称略・順不同) 平成30年3月末現在

社会福祉法人一羊会 西宮福祉ボランティアグループ雑草
税理士法人丸岡&パートナーズ 佐々木康晴 中島忠男 栗林和徳 久米利津子

平成29年度 賛助会員 (敬称略・順不同) 平成30年3月末現在

佐々木康晴 山岡賢治 佐藤寿美 黒瀬美代子 大西勝代 久米利津子 青山恵里 土屋多恵子
梅本比佐子 平井陽子 柴田圭一 吉川治子 村内光一 吉田昌明 三田谷治療教育院 山口有香
仲塚千夏 中村喜弘 中村有美 佐山修 山本輝 松枝千尋 深見秀敏 堀江史子 吉田高
清水彩里 四方勝 佐竹基宏 宮川達 中川雅之 増田貴文 谷田松子 栗林和徳 塩谷健介
古川勝 中島忠男 中村行宏 谷口雄大 岡田朱加 三木さおり 柿坂浩史 永峰千鶴 吉見京樹
船曳善幸 酒井幸子 門脇秀弥 小西隆宏 大川裕紀 野田直季 花澤陽子 大下彩香 大下麻衣子
秋山健一 安田文彦 栗原裕実 横田大輝 齊藤啓史 高橋真有美 三浦昇 大前繁雄 大前はるよ
牧原寛之 北川泰寿 西宮福祉ボランティアグループ雑草 橘実千代

ご賛助のお願い

当会は、知的障がい児・者がその人らしく生きていくための一助になることを願って、様々な活動をしています。ぜひ、賛助会員としてご支援くださいますようお願い申し上げます。

- ・年会費 : 1口 2,000円 ・口座番号: 00940-9-19101 (ゆうちょ)
- ・口座名義: 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会

編集後記

「いっしょにハートをあつためよう」のテーマで開催された第7回「はばたくアート展」!!
たくさんの方々にご協力いただき広報部員皆の心もあつためられ、無事第77号を発行することができました。お忙しい中、ご寄稿いただきました皆様には心より厚く御礼申し上げます。

広報部一同より